

指定要件等	必須・A、 非必須・B	31 (独)国立病院機構米子医療センター	
所在地		米子市車尾4丁目17番1号	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度:	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		鳥取県(西部保健医療圏) 247,753人(平成15年10月1日現在)	
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	41.2%(平成14年度)	
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P391～P399	
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟なし、緩和医療提供体制あり	
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 各部位により多少異なるが、鳥取大学医学部附属病院をはじめ、山陰労災病院、博愛病院その他の地域医療機関との連携を図っている。	
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 画像診断、化学療法、緩和医療に関する相談に応じられる常勤医師を配置している。	
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○ 1名	
○精神保健福祉士	B	× 緩和ケア専任医師等が週1回対応	
○臨床心理に携わる者	B	× 緩和ケア専任医師等が週1回対応	
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 1名	
○ソーシャルワークに従事するもの	B	× 医事課長が調整し、情報・施設紹介	
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 1名	
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 1名	
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○ 1室	
②集中治療室の設置	B	○ 1室2床	
③無菌病室の設置	B	× なし。クリーンベンチ1台で対応。	
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 有(放射線治療室)	
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック、CTスキャン、MRI、ガンマカメラ各1台配置	
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線科医師(2名)、診療放射線技師(6名)を配置	
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○ 平成13年度開始。登録数378件	
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ がん治療研修を実施するとともに、講演会、談話会、症例検討会等を開催	
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 国立がんセンター、九州がんセンター、ターミナル研修会(県看護協会主催)等への研修派遣	
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ ホームページにおいて、各種がんの治療内容、検診内容等の情報を提供	
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 主治医から紹介元の医師への患者情報の迅速な提供、骨・軟部腫瘍診断コーナー設置	
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 国立がんセンターを頂点とする政策医療ネットワークにおけるがん専門施設として活動。5年生存率データを年報やホームページ等で公表	

指定要件等	必須:A, 非必須:B	32 松江赤十字病院
所在地		島根県松江市母衣町200番地
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>	充足度:	
2次医療圏に1か所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		島根県(松江医療圏)*同一医療圏で指定済 256,769人(平成14年10月1日)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	16.2%(平成14年度)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
<b>1 診療体制</b>		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○「参考資料1」 P400~P416
②緩和医療の提供体制	A	○緩和ケア病棟なし。平成16年4月より緩和ケアチームを組織。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○H13に病診連携室を設置。自治体、検診機関、地域医療機関と積極的に連携。紹介率42.4%。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○画像診断、化学療法は40名程度、緩和医療は10名程度を各診療科ごとに配置。
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	○3名
○精神保健福祉士	B	○2名
○臨床心理に携わる者	B	○1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○9名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○1名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○専門医2名、非常勤医師1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○2名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○1室
②集中治療室の設置	B	○5室
③無菌病室の設置	B	○1室
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○1室
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ライナック、CT、MRI、血管撮影装置等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○放射線科部長及び同技師長
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○平成17年4月開始予定
<b>2 研修体制</b>		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○症例検討会実施、研修医受入
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○各種研修会に派遣、山口日赤と人事交流
<b>3 情報提供体制</b>		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○HPで診療案内、手術・放射線治療件数等公表 登録システム構築後5年生存率等公開予定
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○診療案内配布、「病院だより」発行(2月に1回)、かかりつけ医との連携・相談
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○平成16年度に院内がん登録体制が確立された後、がん患者の5年生存率等の情報を公開予定。各種診療科公開できるものから順次公開予定。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	33 島根大学医学部付属病院	
所在地		島根県出雲市塩冶町89-1	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度	島根県(出雲医療圏)※同一医療圏で推薦中 173,799人(平成14年10月1日)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		30.3%(平成14年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	<input type="radio"/>	「参考資料1」 P417~P451
②緩和医療の提供体制	A	<input type="radio"/>	緩和ケア病棟なし。緩和ケアセンター及び緩和ケアチームを組織。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	<input type="radio"/>	県内医療機関への手術応援、画像診断、内視鏡・放射線検査、手術等の依頼がある。紹介率44.9%。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	<input type="radio"/>	画像診断、化学療法、緩和医療について、それぞれ20名程度を各診療科ごとに配置。
②下記に掲げる者の配置		<input type="radio"/>	
○専門的な看護に携わる看護師	B	<input type="radio"/>	緩和ケアチーム2名
○精神保健福祉士	B	<input type="radio"/>	1名
○臨床心理に携わる者	B	<input type="radio"/>	医師8名
○臨床診療録管理に携わる者	B	<input type="radio"/>	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	<input type="radio"/>	1名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	4名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	1名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	<input type="radio"/>	1室
②集中治療室の設置	B	<input type="radio"/>	1室
③無菌病室の設置	B	<input type="radio"/>	無菌病室
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	<input type="radio"/>	4室
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	<input type="radio"/>	リニアック、CT、MRI、血管造影装置等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	<input type="radio"/>	放射線部長及び同技師長
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	<input type="radio"/>	平成17年4月整備予定
<b>2. 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	講演会の実施、開放型病床の設置
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	研修及び勉強会の実施
<b>3. 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	<input type="radio"/>	HPで診療案内、治療実績、セカンドオピニオン情報、主ながんの5年生存率情報
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	<input type="radio"/>	診療案内配布、研究発表
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	<input type="radio"/>	診療案内とホームページで各科の治療実績を公表している。5年生存率については、外科計及び白血病関係が概ね公表しており、今後拡大を計画。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	34 島根県立中央病院
所在地		島根県出雲市姫原四丁目1-1
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度:
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		島根県(出雲医療圏)※同一医療圏で推薦中 173,799人(平成14年10月1日)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	21.5%(平成14年度)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P452~P482
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟なし。緩和ケア医療推進チームを組織。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 県内の各医療機関から画像診断、内視鏡・放射線検査、手術等の依頼がある。紹介率35.35%。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 画像診断、化学療法、緩和医療について、それぞれ10~20名程度を各診療科ごとに配置。
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ ホスピスケア認定看護師1名受験予定
○精神保健福祉士	B	× 緩和医療担当医師1名、看護師1名で対応
○臨床心理に携わる者	B	○ 医師1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 5名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 4名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 2名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 2名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 3室
②集中治療室の設置	B	○ 16床
③無菌病室の設置	B	○ 5床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 1室
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック、CT、MRI、血管造影装置、RI等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線科医師、診療放射線技師等
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成17年4月開始予定
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 医師会との勉強会実施、看護師受入
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 各種学会及び研修会等に派遣
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ HPで診療案内、手術・放射線治療件数等公表 今後、クリニカルインディケーターとして各科のがん治療成績を公開予定(5年生存率含む)
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 外来診療担当表配布、「連携室たより」発行(年6回)、パンフレット適時発行、地域の医療機関との連携
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 平成16年に外科で集計している胃、大腸、直腸、膀胱、肝臓の手術症例の累積生存率について公表。他の資料については順次公開予定。

指定要件等	必須:A 非必須:B	35 益田赤十字病院	
所在地		島根県益田市乙吉町103-1番地	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		充足度:	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)			島根県(益田医療圏) 72,307人(平成14年10月1日)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		10.8%(平成14年度)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P483~P541
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟なし、緩和ケア提供体制あり
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	高度機能を持つ島根大学医学部付属病院、国立病院機構浜田医療センター等を中心に連携。紹介率37.2%。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	画像診断は13名、化学療法、緩和医療は20名程度を各診療科ごとに配置。
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	病棟棟長で対応
○精神保健福祉士	B	×	主治医、看護師で対応
○臨床心理に携わる者	B	○	臨床心理士1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	医療社会福祉司1名(h16.4より2名)
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	国立病院機構浜田医療センターに依頼
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	山口大学医学部病理専門医対応
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	○	2室
③無菌病室の設置	B	○	2室
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	国立病院機構浜田医療センターに依頼
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	CT、MRI、血管造影装置等
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線科部長及び同技師長
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	平成16年6月から新規患者について開始、17年4月から本格実施予定
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	研修会実施、看護師、MSW受入
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	呉医療センターの研修会派遣、緩和医療に関する研修会を予定
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	HPで診療案内、検診情報等公表。登録システムで5年生存率等計測後公開予定 その他地域広報誌発刊、健康医学教室等実施
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等にに応じた情報提供	A	○	診療案内配布、かかりつけ医との連携・相談
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している 各診療科公開できるものから順次公開

指定要件等	必須:A, 非必須:B	36 財団法人津山慈風会 津山中央病院
所在地		岡山県津山市川崎1756
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		充足度:
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		岡山県(津山英田保健医療圏) 203,198人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	13.9%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
<b>1 診療体制</b>		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P542~P545
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟:無。緩和医療チーム:医師、看護師、薬剤師等のメンバーでチームを構成。疼痛制御、終末期医療などの具体的方策をすすめ、院内全部署で高いレベルでの標準化医療を目指す。参照シート:緩和ケア
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 地域医療機関・大学病院等との連携体制をとっている
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 病診連携委員会の医師4名で対応。(副院長、救命救急センター長、外科部長、放射線科部長)
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 常勤2名。認定資格者なし。緩和医療チーム等の委員であり研修等自己研鑽している。
○精神保健福祉士	B	× 市内の精神科病院と病病連携の中で対応。
○臨床心理に携わる者	B	× 上記の専門的な看護師が研修を受け対応。
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤4名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤4名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤1名、非常勤1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 3室
②集中治療室の設置	B	○ 8床
③無菌病室の設置	B	× 機器のレンタルにより、無菌病室を確保する。
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ リニアックを1台所有。(平成14年5月運用開始、又来年度PET導入予定)
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック1台、ガンマカメラ1台、ヘリカルCT2台、MRI2台、マンモグラフィ1台、DSA装置2台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 診療放射線技師19名、臨床工学技士4名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成14年1月開始。登録者数1,216人(平成16年11月1日現在)
<b>2. 研修体制</b>		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 積極的に研修会を実施している
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 医師、看護スタッフ、緩和ケアチームによる研修会等の実施
<b>3 情報提供体制</b>		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ ホームページにおいてアドボカシー室案内、専門医数等を公開。ホームページ上でのがん診療のコンテンツを作成中。
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ メディネット(医療機関向け情報紙)により各科の診療実績を公開、またQ&Aコーナーにて質問を受け付けている等相談に応じている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 学会発表、学術論文への掲載などの活動を通じ、最近のがん情報を収集提供している。5年生存率は把握できるような体制を整備中。